

湯沸し器のつまみ自助具の製作

1 相談内容

相談者は、重度障害者(児)日常生活用具給付制度を利用して、数年前に湯沸し器を購入されました。これまでは両手でつまみを回して、なんとか点火することができたそうです。ところが、だんだんと自分ではできなくなってきたとのこと。制度を利用したため、まだ耐用年数を過ぎておらず、新たに押しボタン点火式の湯沸し器を購入することはできないそうです。そこで、今使っている湯沸し器であっても自分一人で点火できるための道具はないかという、ご相談がありました。

2 利用者プロフィール

60代女性、脳性小児麻痺により身体障害者手帳1級、要介護度3であり、ご夫婦2人で暮らしています。できることは出来る限り自分でされるそうで、食事づくりや掃除など半介助で夫にも手伝ってもらいながら、家事をこなしています。

3 対応

湯沸し器の点火つまみがうまく回せないとのことだったので、そのための自助具を製作することにしました。湯沸し器は点火つまみをいったん押し込んで左に回し、その状態を20秒以上保持して点火するものでした。本人からは車のハンドルのようなもので操作ができるように、との希望がありました。100円ショップに皿を重ねて整理する食器ストッカーというものが販売されていたので、それを改造して製作しました。



製作した自助具(内側)



食器ストッカーを利用して製作(外側)

4 結果

本人は、上記の自助具を両手で持ち体重をかけて点火つまみに押し付けます。そして、その状態でハンドルのように左へ回し、20秒保持して点火します。実際にやっていただいで問題なく使用することができました。特に冬場での食器洗いなど、お湯を使うことができて、とても良いという感想をいただきました。